【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公開番号】特開2008-241326(P2008-241326A)
【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)
【年通号数】公開・登録公報2008-040
【出願番号】特願2007-79225(P2007-79225)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｆ　1/00　(2006.01)
Ｆ２４Ｆ　11/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｆ　1/00　Ｆ
Ｇ０１Ｆ　1/00　Ｓ
Ｆ２４Ｆ　11/02　１０２Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月9日(2009.1.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
（各熱媒ポンプの流量Q_iの算出）
前記熱媒ポンプ３Ａ～３Ｃについて、各熱媒ポンプの流量Q_iを算出するため、上式(2)を熱媒の流量Ｑについて解いて、次式(3)のように変形する。
【数３】

$$Q_i = \{-Y - (Y^2 - 4 \times X \times Z)^{0.5}\} / (2 \times X) \quad \cdots (3)$$

ここで、$X = A$

$Y = B \times f_i / F_i$

$Z = C \times (f_i / F_i)^2 - P$

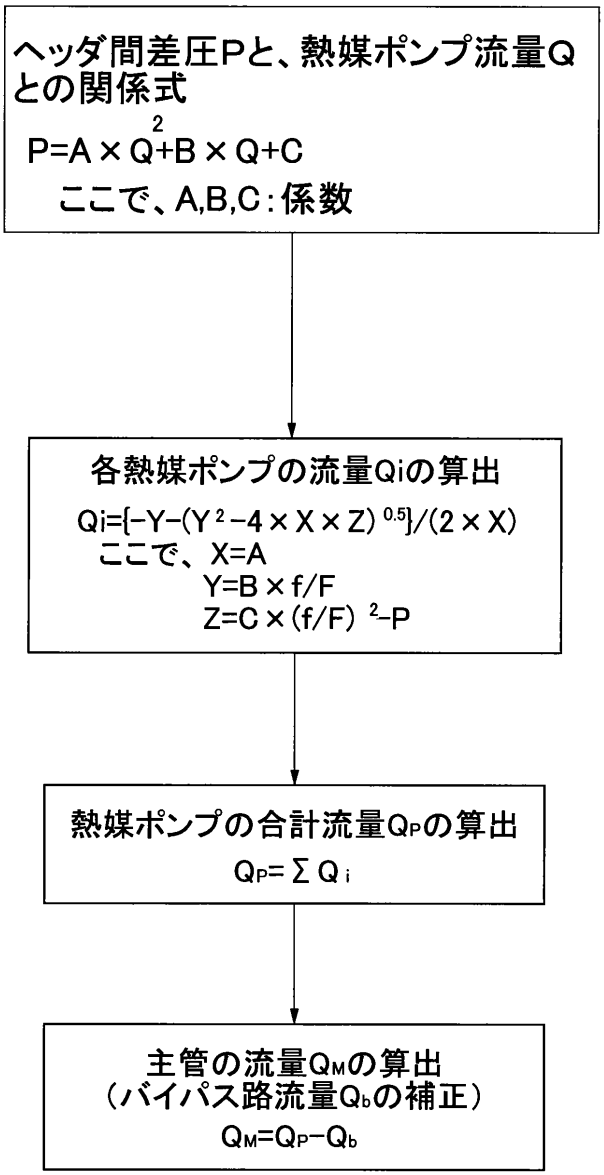
f_i：各熱媒ポンプの運転周波数

F_i：各熱媒ポンプの定格周波数

$i = 1, 2, 3, \cdots, n$（ｎは熱媒ポンプの台数）

【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図２】


ヘッダ間差圧Pと、熱媒ポンプ流量Qとの関係式
$P=A\times Q^{2}+B\times Q+C$
ここで、A,B,C：係数
各熱媒ポンプの流量Qiの算出
$Qi=\{-Y-(Y^{2}-4\times X\times Z)^{0.5}\}/(2\times X)$
ここで、X=A
$Y=B\times f/F$
$Z=C\times(f/F)^{2}-P$
熱媒ポンプの合計流量Q_Pの算出
$Q_P=\Sigma Q_i$
主管の流量Q_Mの算出
（バイパス路流量Q_bの補正）
$Q_M=Q_P-Q_b$